

製品名: MAGE-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13590**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	MAGEA1
別名	MAGEA1; MAGE1; MAGE1A; Melanoma-associated antigen 1; Antigen MZ2-E; Cancer/testis antigen 1.1; CT1.1; MAGE-1 antigen
遺伝子 ID	4100.0
SwissProt ID	P43355
免疫原	抗血清はヒト MAGE-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 260-309

背景

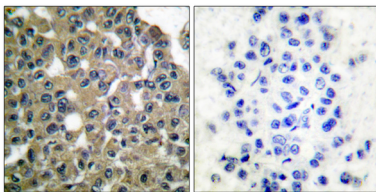
この遺伝子は MAGEA 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーは、互いに 50~80%の配列相同性を持つタンパ

ク質をコードしています。MAGEA 遺伝子のプロモーターと最初のエクソンには大きな変異が見られ、この遺伝子ファミリーの存在によって、異なる転写制御下で同一の機能が発現していることが示唆されています。MAGEA 遺伝子は染色体 Xq28 にクラスター化しています。これらの遺伝子は、先天性角化異常症などのいくつかの遺伝性疾患に関与していることが示唆されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：不明ですが、胚発生や腫瘍の形質転換、あるいは腫瘍進行の側面において役割を果たしている可能性があります。自己細胞傷害性 T リンパ球によってメラノーマ上で認識される抗原。類似性：1 つの MAGE ドメインを含む。組織特異性：メラノーマ、頭頸部扁平上皮癌、肺癌、乳癌など、様々な腫瘍で発現するが、精巣を除く正常組織では発現しない。腎腫瘍、白血病、リンパ腫では発現しない。、

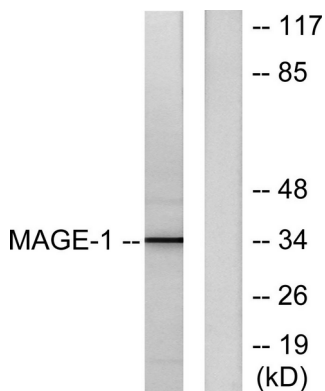
研究分野

腫瘍免疫学; 腫瘍関連抗原; がん; 腫瘍バイオマーカー; 腫瘍抗原; タグと細胞マーカー; 細胞型マーカー; 腫瘍関連

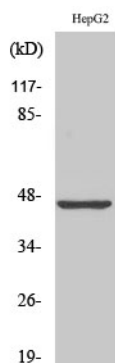
画像データ



MAGE-1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



MAGE-1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MAGE-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析